

目標の柱	1	恵まれた自然環境と調和した生活空間の創造
基本目標(政策)	1-2	居住環境の整備・充実を図ります
基本計画(施策)	1-2-4	・高度情報化社会への対応

	課		係
主管課・係	総合政策課		広報情報係
関係課・係			

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①誰もが必要な情報を取得できる。 ②ICTの利活用による行政サービスの享受が可能となる。</p>																																								
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①通信環境の整備。 ②高度情報化計画の策定。</p>																																								
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 携帯電話不通話地域カバー率(居住地域)</td> <td>%</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>B 高度情報化計画の策定状況</td> <td>-</td> <td>未策定</td> <td>調査</td> <td>策定</td> <td>策定</td> <td>策定</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		実績値	実績値	実績値	目標値	実績値	A 携帯電話不通話地域カバー率(居住地域)	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	B 高度情報化計画の策定状況	-	未策定	調査	策定	策定	策定	C							D						
	単位			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																																		
		実績値	実績値	実績値	目標値	実績値																																			
A 携帯電話不通話地域カバー率(居住地域)	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0																																			
B 高度情報化計画の策定状況	-	未策定	調査	策定	策定	策定																																			
C																																									
D																																									
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p>	<p>5 令和4年度の目標値達成の見込みと方向付け</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>既に100%となっているため。</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>B ② 上回った</td> <td>自治体DXを進めるにあたって、「南会津町デジタル変革(DX)基本計画」を策定した。</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ③ ほぼ目標値どおり	既に100%となっているため。	/	/	B ② 上回った	自治体DXを進めるにあたって、「南会津町デジタル変革(DX)基本計画」を策定した。	/	/	C		/	/	D		/	/																				
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																						
A ③ ほぼ目標値どおり	既に100%となっているため。	/	/																																						
B ② 上回った	自治体DXを進めるにあたって、「南会津町デジタル変革(DX)基本計画」を策定した。	/	/																																						
C		/	/																																						
D		/	/																																						
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地上デジタルテレビ放送改修事業を実施した。 ・中山峠携帯電話エリア整備事業を進めた。 ・ITリーダーミーティングにおいて、南会津町DX推進基本計画策定の協議を行った。 ・勤怠管理システムを導入した。 																																								
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>																																								

【施策の振り返り】

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗生沢テレビ共同受信施設組合、掘割共同受信組合、石橋テレビ共同受信組合、愛宕下テレビ組合において改修事業を実施し、受信環境を確保した。 ・中山峠携帯電話エリア整備事業が完了した。 ・南会津町DX推進基本計画を策定した。 ・勤怠管理システムを導入した。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度情報化には、導入するシステムの費用対効果に課題がある。 ・庁内全体での高度情報化推進には、デジタル人材の育成、確保の面で課題がある。
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勤怠管理システムの導入により、毎月の超過勤務の集計や休暇日数の管理が自動化されたことで、職員の健康管理も含めた事務の効率化が図られた。

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中山峠携帯電話エリア整備事業については、令和4年度繰越事業にて完了した。 ・高度情報化については、国庫補助を活用しながら標準化を進めるとともに、マイナンバーカードの普及やインターネットを活用した行政手続の導入と共に、ペーパーレス化に向けた事業の構築を進める。 ・デジタル人材の育成に向けた事業を実施する。
-------------------------------------	---

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和5年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額
01	地上デジタルテレビ放送改修事業補助金	総合政策課	目的	地理的な条件により地上デジタルテレビ放送が良好に受信できない地域の解消を図り住民生活を向上させる。		
			概要	視聴者が共同で組織する共聴組合等が行う整備事業に対し、必要な経費の一部を補助した。		
			成果	各テレビ組合において改修事業を実施した。		
		広報情報係	問題	多くの共同受信組合が存在し、順次、整備を進める必要がある。		
			対策	①継続 長期修繕計画を策定し、順次、整備を進める。		
			事業費	0	9,972	11,437
02	セキュリティ対策機器導入事業	総合政策課	目的	職員が使用するパソコン管理を正確・迅速に行い、USBメモリをはじめとした外部記録媒体を適正に管理する。		
			概要	パソコンの管理を正確・迅速に行い、外部記録媒体の適正な管理を図るため、導入したセキュリティ支援ソフトや関係機器をうまく活用し、セキュリティ対策の充実に努めた。		
			成果	情報漏洩や重大インシデントなどの事案の発生はなかった。		
		広報情報係	問題	新しい攻撃手法が日々開発され、恒常的な対応が必要となっている。		
			対策	①継続 セキュリティシステムの更新だけではなく、職員個々のモラル向上やスキルアップも必要であるため、抜き打ち訓練、eラーニングを実施している。		
			事業費	2,171	2,285	762
03	中山峠携帯電話エリア整備事業	総合政策課	目的	携帯電話不感地域のエリア化を目的とする。		
			概要	国道352号中山峠携帯電話エリア整備事業。		
			成果	事業完了した。		
		広報情報係	問題	本事業のほか、3キャリアによる鉄塔整備の完了をもって、不感地帯が解消される。		
			対策	③廃止 町の事業として完了しており、廃止とする。		
			事業費	3	0	41,225
04	勤怠管理システム導入事業	総合政策課	目的	職員勤怠管理の適正化と承認決済、集計事務を効率化する。		
			概要	本庁、各総合支所ほか庁舎への打刻機の導入とクラウド利用により、勤怠管理を自動化する。		
			成果	勤怠管理システムを導入し、1月から運用開始した。		
		広報情報係	問題	今後、運用実績に応じて、費用対効果や問題点の有無が明らかになってくると思われる。		
			対策	①継続 勤怠管理システムの運用を開始したところであり、継続していく。		
			事業費	0	0	1,897
05	情報技術普及支援事業	総合政策課	目的	本町におけるデジタル技術の普及に関する人材育成を促進する。		
			概要	国家試験であるITパスポート試験等の受験手数料を町が負担する。		
			成果	ITリーダーによる受験と住民への補助事業を実施し人材育成を促進する。		
		広報情報係	問題	人材の育成には時間が必要であり、効果的な事業展開が課題である。		
			対策	①継続 本事業は、令和7年度まで限定的に実施し見直しを図る計画である。		
			事業費	0	0	173
06	デジタル広告研修会	総合政策課	目的	デジタル広告の活用を促進し、対象者の属性を絞込んだ広告を行うことで、効果的なPRを行う。		
			概要	広告の基本概念や考え方、基本的な枠組みを習得し、デジタルを活用した効果的な広告を導入するための研修会を開催する。		
			成果	職員を対象としたプロモーション事業に関するセミナーを開催し、事業に対するプロジェクトマネジメントの基礎的な知識・情報の習得や、課題解決を行う力を養った。また、アドバイス業務を委託し、事業の改善に繋がった。		
		広報情報係	問題	研修会を計画的に実施し、問題はなし。		
			対策	③廃止 研修成果を実務的に実践する段階に入るため廃止とする。		
			事業費	0	0	600
07	デジタル変革人材育成事業	総合政策課	目的	住民のデジタル利用対策を推進し、より多くの住民がデジタル化による恩恵を享受できる機会をつくる。		
			概要	スマートフォン初心者、未所有者を対象とした研修会を開催することで、住民のデジタル利用対策を推進する。		
			成果	DX推進のため、スマートフォン利用に関する、初心者、未所有者を対象とした研修会を開催し、デジタル化による恩恵について住民の理解を深めることができた。		
		広報情報係	問題	スマートフォンなどデジタル機器が高額であることや、デジタル機器の必要性を感じない方への対策が課題である。		
			対策	①継続 国や県が実施する研修会の活用も推進しながら継続的に実施していく。		
			事業費	0	0	495
08			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
事業費の合計(千円)			2,174	12,257	56,589	8,447